

三井住友フィナンシャルグループ 2019年度の経営課題と取組方針

2019年6月27日



中期経営計画の最終年度を着実に仕上げるとともに、
次期中期経営計画を展望し、持続的成長に向けた
施策に着手

持続的成長と企業価値の更なる向上

事業・資産構造の転換

グループの事業再編をスピーディーに実施

■ 三井住友ファイナンス&リースの非連結化

■ 三井住友カードを完全子会社化

■ 三井住友アセットマネジメントと
大和住銀投信投資顧問を合併

経費効率の向上

業務効率化

205万時間分の
業務量を削減

店舗改革

全体の6割にあたる
259店舗が完了

グループ内 事業再編

三井住友カードと
セディナの一体運営

グループ全体の生産性向上と効率化を推進

リテール事業部門

個人のお客さま

お客さま本位に根ざした 資産管理型ビジネスの追求

■ 中長期分散投資を軸とした運用提案

■ 「人生100年時代」に向けたあらゆるニーズへの対応

リテール事業部門

個人のお客さま

デジタル技術の活用による利便性向上

モバイルアプリのリニューアル



デビット
カード
即時発行



デビット
カード
支払限度額
設定



銀行口座と
カードの
一括管理



他行口座を
含む
資産管理

ホールセール事業部門

法人のお客さま

金利収益に依存しない収益構造への転換

■ 外国為替や為替手数料等の非金利収益を増強

ホールセール事業部門

法人のお客さま

お客さまの課題に応じた解決策の提供

■ お客さまの海外業務拡大やM&A等の
事業戦略を支援

■ スタートアップ企業向けの支援施設
「SMBC Startup Hub」を開設

国際事業部門

海外のお客さま

海外ビジネスにおける資産効率の向上

■ 為替取引や債券引受等の対応力強化

■ 航空機リース等の強みを持つビジネスを強化

国際事業部門

海外のお客さま

アジアビジネスの強化

■ アジアにおける地場優良企業・成長企業との関係を深化

■ マルチフランチャイズ戦略を推進

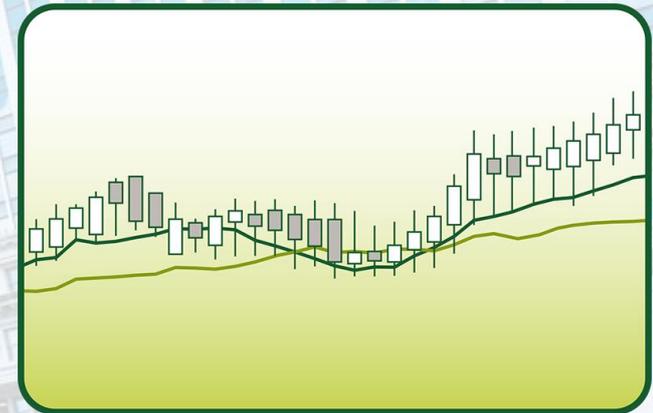


市場事業部門

事業法人・機関投資家のお客さま

お客さまの多様な運用志向や ニーズへの対応

■ 外国為替やデリバティブ、債券等の
市場性商品を通じたサービスの強化



市場事業部門

事業法人・機関投資家のお客さま

安定的かつ低コストな外貨調達

本邦初となるカバードボンド発行

キャッシュレス決済

わが国のキャッシュレス化を先導

- 利用者に対する
新しいキャッシュレス決済の機会の創出
- 事業者向け次世代決済プラットフォームの
構築について、関係者と基本合意



② 強みに重点を置いた成長戦略の推進

デジタル化の推進

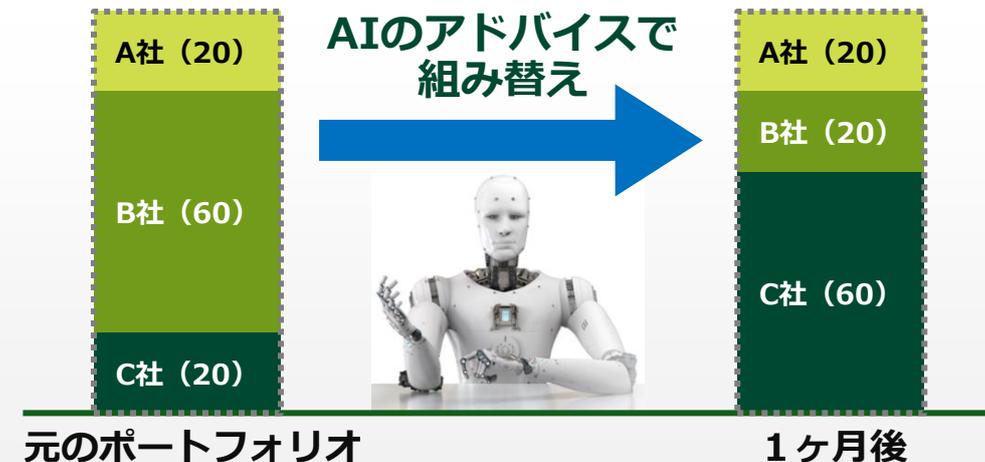
オープンイノベーション

■ **ビジネス創出ワークショップ
SMBC Brewery**



人工知能（A I）の活用

■ **個別株式
ポートフォリオ提案サービス**



サステナビリティ経営の推進

SDGs (持続可能な開発目標)

環境	社会	ガバナンス
<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>1 貧困を なくそう</p>  <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>  <p>16 平和と公正を すべての人に</p> 

親会社株主に
帰属する
当期純利益

■ 三井住友フィナンシャルグループ[®]（連結）

7,000億円

配 当

■ **2018年度：180円**

(2017年度比+10円・公表予想比+10円増配)

■ **2019年度：180円（予想）**

自己株式取得

■ **上限1,000億円の取得枠の設定**

取得期間：2019年5月16日～8月30日
(今回取得した自己株式は全て消却)

